

## 平成26年度忠霊塔・忠魂碑等の実態調査表

報告年月日 平成 26 年 1 月 6 日

① 名 称	安芸市赤野忠霊塔
② 建立場所	安芸市赤野乙73
③ 敷地面積	正面巾13.15m、奥行7.1m、面積106.5㎡ (H25.12.28実測)
④ 建立年月日	昭和30年1月19日(忠霊塔落成式典)
⑤ 敷地所有者	大元神社
⑥ 建立主体	安芸市
⑦ 建立の経緯等	<p>昭和28年11月10日、赤野地区慰霊祭祭詞の中に、当時の村長 仙頭要氏より、赤野村として忠霊塔建立の具体化に取り組むとの記述有。翌年昭和29年12月30日完成とある。(塔の銘板に記入されているが、今は銘板は剥離されてない。)</p> <p>【以下資料より抜粋】 戦没者96柱の遺骨が納められている。住吉にある。塔の入り口には次のことが記入されている。「天下泰平 村長 仙頭要 助役 細川潔臣 収入役 松井楠一 遺族会長 仙頭久吉 発起人 細川義隆 仙頭要 仙頭久吉 施工人 信清茂助 昭和29年12月30日完成 国家安全」</p>
⑧ 建設総費用 (財源等)	昭和29年9月1日に安芸市が発足しており、市発注と思われるが、経過の分かる文書がない。
⑨ 忠霊塔等の所有者	上記の事柄、所有は安芸市と思われる。
⑩ 現在の管理者	赤野遺族会で維持管理を行っている。

⑪維持管理の方法	遺族が多かった時には月1回清掃作業を行っていたが、その後昭和60年頃より忠霊塔近隣の方に管理委託を行った。しかし遺族が少なくなった平成19年、管理委託を打ち切り。以後遺児有志で年数回管理している。
⑫慰霊祭の実施状況	昭和49年まで安芸市及び赤野日赤奉仕団の援助により慰霊祭を行っていた。以降安芸市主催の戦没者追悼式典を行っている。
⑬霊名碑等の有無	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">有</div> <div style="margin-left: 200px;">無</div> </div>
⑭戦没者の合祀者数	96柱
⑮備考 (参考となることがあれば記入願います)	昭和24年10月29日、赤野遺族会創立結成以降活動経費捻出のため、映画会を度々行い会の維持に努め、昭和49年まで続いた。以後安芸市主催の追悼式典へと移行する。遺族より年会費を集めて維持するも、平成22年、遺族減少により徴収を取りやめた。現在は市の補助のみである。塔にあった工事銘板も剥離し、また塔入口の鍵も紛失。銘板文字は赤野村文書にあるが、建設費用は不明である。